

社団法人 地盤工学会
技術普及委員会
 平成20年度第2回議事録

日 時	平成20年 7月 22日(火) 15:00~17:00					会 場	地盤工学会会議室	
委員長	古屋 弘	○	副委員長	小林 恒三	○	幹 事	原 忠	×
幹 事	竹山 智英	○	委 員	前川 太	○	委 員	白石 保津	×
委 員	石井 建樹	×	委 員	山田 悦子	○	委 員	伊藤 和也	×
委 員	舟橋 景介	○	委 員	北田 貴光	×	委 員	谷本 俊輔	×
委 員	王 林	○	委 員	今井 優輝	○	委 員	水野 健太	○
事務局	古藤田 純	○						
○：出席 ×：欠席 △：未定								

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (別添資料 1)
 ・ 小林委員を指名した。
2. 前回議事録の確認 (資料 20-2-1)
 ・ 確認された。
4. 平成 20 第 2 回事業部会報告(議事録)(6/13) (資料 20-2-2)
 ・ 小林部員及び山田部員より要旨紹介があり、確認された。(同部会は古屋事業部長欠席)
5. 講習会, 開催報告および収支報告 (資料 20-2-4)
 ・ 6月及び7月開催の4件について事務局(古藤田)より報告があり、確認された。(表-1参照)

表-1 6月及び7月開催の講習会速報

講 習 会 名	会 場	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率(%)
	開催日	予算(円)		実績(円)		実績の収支差見込み(円)		
第 1 回土と基礎の設計 計算演習講習会	JGS会館大会議室	7	35	0	0	50	42	144%
	6月3,4日	796,000		1,148,000		714,132		
地盤の動的解析-基礎理 論から応用まで講習会	JGS会館大会議室	46	9	3	1	45	59	130%
	6月12日	456,000		595,000		318,827		
土質基礎に関する秘術 講習会	JGS会館大会議室	7	49	0	0	45	56	110%
	6月19,20日	1,205,000		1,330,000		671,912		
はじめて学ぶ FEM 講習 会	JGS会館大会議室	62	11	5	1	48	79	165%
	7月14,15日	628,000		1,034,000		773,259		
今年度累計(4月~7月)		4,796,000		6,256,000		3,488,417		

6. 事業部一般会計収支報告 (資料 20-2-5)
 ・ 出足好調で当月までの累計収支差は625万6千円となり計画値を超過している旨、事務局(古藤田、下山)より報告があった。
 ・ 古屋委員長より、例年この傾向であるので楽観視せず今後とも計画を着実に進めることが肝要である旨の補足発言があり、確認された。

審議事項

1. 平成 20 年度技術講習会

1. 1 進捗

(資料 20-2-5)

- (1) 三軸圧縮実技試験講習会(会計NO.014) (8月6日～8日) 担当：水野委員
 - ・ 参加申込者枠に1名余裕があるので、受入を続けることとする。
- (2) 山岳トンネルの調査・設計から施工まで講習会(会計NO.018) (9月予定) 担当：谷本委員
 - ・ 開催期日が未確定である。早急に期日を確定させる。
- (3) 近接工事の調査・設計・施工技術講習会(会計NO.020) (9月予定) 担当：今井委員
 - ・ 日本建築学会で同名講習会の開催計画がある。開催時期を延期する。目処は2月とする。
- (4) わかりやすい構造物基礎講習会(会計NO.029) (12月予定) 担当：前川委員
 - ・ 新刊本出版時期遅延が見込まれ、今年度開催が絶望的であるため、次年度送りとする。
- (5) 構造物基礎の設計に関する新技術・新工法講習会(会計NO.030) (12月予定) 担当：舟橋委員
 - ・ 繰り延べ又は繰り上げ開催の方向で調整する。(12月開催本数が7本とタイトなため)
- (6) 直下地震に対する地盤工学会からの提言講習会(会計NO.032) (12月予定) 担当：王委員
 - ・ 前年度講師8名への打診と日程調整をスピードアップする。(開催予告の関係)
- (7) 地盤防災のための基礎知識(他分野から見た地盤防災)講習会(会計NO.036) (1月予定) 担当：王委員
 - ・ 副題変更(ユビキタス社会から見た地盤防災)の提案(王委員と講師取り纏め役の東畑先生の協議結果)について承認する。
 - ・ 1月開催のためには早急に講師陣を確定し、書き下ろしテキストの執筆にかかる必要がある。開催案内の締め切り(最低3ヶ月前)からみて時間は極めて厳しいが努力していく。
 - ・ プログラム原案が学識経験者主体に構成されているので、実務の話で出来る講師も入れてはどうかとの提案があった。

1. 2 年間行事スケジュール

(資料 20-2-6)

- ・ 開催期日未確定な講習会の日程調整・絞り込みの際には、事務局作成の「年間スケジュール表」中の行事総覧を十分把握し、他行事と重複・競合しないよう配慮することが確認された。

1. 3 DM用チラシ及びポスターの発送

- ・ 今後開催予定の講習会のDM用チラシ及びポスター(A2)の発送(8月初旬予定)を下記要領にて行う。

発送先	発送部数
特別会員(現)	2,900
同上(退会)	140

2. 講習会改革:

2. 1 H20 コース制に関する検討

(資料 20-2-7)

- ・ 「コース制講習会に関する一受講者からの意見書」(H20.5)で提起された問題の内、継続審議となっている”複数コース受講者に対するコース選択の便宜とCPDポイント賦与のあり方”について突っ込んで審議し、下記を確認した。
- ・ 現行のコース制講習会は企画構想時点で予期しなかった問題がある。
- ・ 次年度講習会はこの問題を見直した上で更なる普及・発展を図ることが肝要である。
- ・ 技術普及委員会内にワーキンググループ(WG)を組織し、この問題の解決方向を探る。
WGメンバーは、今井委員、竹山委員、舟橋委員、水野委員の4名で構成する。
WGでの審議に際しては、本日の委員会で出された意見(次頁)を踏まえる。

- コース制を構成する個別講習会の属性区分（仮称基本講習会、仮称応用講習会）を行い、基本講習会については複数コース選択時に二重選択不要とする。
- コース制を構成する個別講習会の講義 1 件ずつについて、上記と同様に属性区分を行う。

2.2 講習会のオンデマンド化

(資料 20-2-8)

- ・ 小林委員(WG主査)より、第 2 回WG(7/22)での審議内容について要旨下記の報告があった。
 - 次年度より順次オンデマンド化を実行に移していく方向が共通認識となりつつある。ただ、収益性予測が大変難しい。久保田情報技研の提案書の仮定論をどのように現実論に展開出来るかが山場である。支部アンケートの結果を待って販売予測の精度をあげていきたい。
 - WGメンバーに継続教育委員会より 1 名程度委員を派遣してもらえるよう調整している。オンデマンド講習会のCPD賦与の考え方を学会全体の視点でまとめていくためである。
 - 今後のWGの開催予定は、下記のとおりである。

8/7	久保田情報技研へのヒアリング
8/21	第 3 回WG(答申原稿審議)
9/末	第 4 回WG最終答申
- ・ 古屋委員長より、続教育委員会からWGへの委員派遣の依頼は内諾済みであること、次回WGのヒアリングに関東支部の参加打診も検討するよう提案があった。(今後事務局で対応)

2.3 H21 年度講習会テーマ案の検討

(資料 20-2-9)

- ・ 次年度講習会の開催企画(案)は12月締め切りであり、各委員は次年度企画の原案提案の準備に入りたいと、古屋委員長より要請があった。
- ・ 新企画提案の参考資料として、①新刊本出版予定表、②地盤工学会誌での連載講座の計画表、を活用して欲しいとの依頼・説明が事務局よりあった。

2.4 5月及び6月講習会のアンケート結果

(資料 20-2-10)

- ・ 事務局より、資料に関する説明があった。
- ・ 回答者の母数を入れ、背景評価の便宜向上を図ることとなった。

3. その他

3.1 WEB ラーニングについての検討

- ・ 古屋委員長より、要旨下記の説明があった。
 - 過日開催された運営連絡会では事業部が主管することが決定された
 - 今年度の募集は昨年より若干遅れる見込みである
 - 予想テーマ：土砂災害に対して学会として応募意向である。龍岡会長が幹事となる見込み。

付記：

- ・ 次回委員会開催日 平成20年8月21日(木) PM3:00～5:00 於：鉄道総研(国立市)

事業部会(7月22日)への提案・報告事項

報告事項	① H20開催日およびプログラム決定講習会
	② DM用チラシ及びポスターの発送
審議事項	③ 新規講習会

以上